

牛の異常産にご注意ください！

アカバネ病の発生予察のための定点観測を

岐阜県内では6～11月にかけて計4回実施しました。

ウイルスの抗体価の上昇（感染）は県内では認められませんでした。

【アカバネ病とは】

- ・アカバネ病ウイルスによる感染症で、異常産を引き起こす
- ・伝播経路：カヤヌカカがウイルスを媒介
- ・流行時期：夏～秋
- ・治療法：なし。ワクチンにより予防することが可能

【症状】

- ・成牛（妊娠中の感染）
夏～翌年の春に死流産、
先天性の奇形を伴った体型異常子牛の分娩、難産
 - ・四肢の湾曲、脊柱の湾曲および斜頸
 - ・内水頭症（大脳欠損症）、頭部の変形
 - ・虚弱、歩行困難～起立不能
- ・子牛（生後感染）
運動失調、起立障害、後肢麻痺、神経症状等



【牛の異常産を引き起す昆虫媒介性疾病は他にも…】 アカバネ病野外感染例

- ・チュウザン病、アイノウイルス感染症
(カヤヌカカが媒介する。治療法はなく、ワクチンによる予防が可能)
 - ➔ **異常産3混ワクチン**で予防
- ・ピートンウイルス感染症（ヌカカが媒介）
 - ➔ **異常産4混ワクチン**で予防

適切なワクチンの接種を！

媒介昆虫が活動し始める前＝春のワクチン接種が大切です。